



合唱祭

10月18日に合唱祭が行われました。練習中はどのクラスが最優秀賞を取るのか予想がつかないほど声が出ていました。賞はついたけれど、これまでの頑張りにみんな自信をもってほしいです。また、この日のために指揮者や伴奏者は、夏休み前から練習をはじめ、準備をしていました。文化行事委員も曲選びにはじまり、長い間、学年やクラスのために準備をしていました。そんな陰の努力のおかげと、みんなの努力が重なり、とても良い行事になりました。そして3年生の歌の完成度はすごかったですね。来年は3年生の歌声を超えられるように頑張っていきましょう。

最優秀賞	2年 E組	♪旅立ちの時～Asian Dream Song～♪
優秀賞	2年 B組	♪YELL♪
指揮者賞	2年 B組	

合唱祭の作文を紹介します。最初はA組です。

輝かしいもの

A組

合唱祭が終わった今、正直な気持ちとして悔しい気持ちが一番大きい。本気でA組なら最優秀賞を獲れたと思っているし、もちろんここまで頑張れたとう達成感もある。たればを言ったらきりがないが、もう少し緊張を軽くできていたら、もっと違う結果になったはず。

合唱祭に向けて日々、もっと言えば歌う度によくなっていった放課後練習は楽しかった。よくなっていったというのは歌だけではなく、みんなでやるんだというクラス全体の雰囲気だ。ひとつひとつであるが改善をしていけた。多くの人が積極的に動いていた。

こうしてすごく成長して賞も狙える中で、完成度が高まってきたからこそ、目標に届かなかった悔しさは大きい。指揮者として、みんなが楽な気持ちで歌えるように声掛けが出来なかったのは心残りだ。もちろん、勝ちたかった。みんなで歌声をつくり上げていく過程が素晴らしかった、だけで納得はできていない。むしろ、その過程が素晴らしかったから、そのくらい努力したから勝ちたかったのだ、その思いは達成感よりも大きい。

それでもこの合唱祭は、結果を含めて得たものの価値はすごく大きいと思う。間違いなく、A組としての団結力が高まった。トラブルは多かったが、互いに意見を出し合えたことで強い団結力ができたと思っている。

「君と見た夏の日の思い出は、いつまでも輝いてる」と同じように、僕にとってみんなでつくり上げたこの思い出は、とても輝かしいもので、忘れられないものになったと思う。

悔しかった

A組

私は今年初めて文化行事委員に立候補して、みんなと最高の合唱祭をつくりあげられるように頑張って仕事に励みました。私はまだこの時、クラスになじむことができていなくて、みんなを引っ張っていかるとても不安でした。練習では、A組は静かなクラスなので、声がでないのではと心配でした。でも練習を重ねるうちにクラスのチームワークが高まり、だんだん合唱がよくなりました。

合唱祭一週間前の練習では一つにまとまらず、友達と話したり、文化行事委員が話すことも聞いてくれませんでした。でもパートリーダーや指揮者がクラスを引っ張ってくれて少しずつクラスに一体感が生まれました。曲もだいぶ仕上がり「優勝いけちゃうかもっ」と思いました。合唱祭当日は、みんな緊張しました。どのクラスも上手でびっくりしました。私は今年も自由曲の伴奏をやらせてもらい、みんなが歌いやすいように毎日練習に励みました。ですが本番でミスをしてしまい伴奏を止めてしまいました。私はパニックで頭が真っ白になってしまいました。それでもみんなは全く動じず、歌い続けてくれて、そのアカペラが本当にきれいで感動してしまいました。みんなの歌声に勇気をもらい、最後まで伴奏を弾き続けることができました。終わった後にみんながなぐさめてくれたことが嬉しかったです。結果発表ではE組が最優秀賞、B組が優秀賞と聞いてとても悔しかったです。私の中ではA組が一番輝いていて一番よかったと思います。私にとって今回の合唱祭は一番の思い出になり、A組が一つの輪になった大きな行事だったんじゃないかと思いました。悔しい結果だったけれど、後悔はなく最高の合唱祭でした。来年も頑張って絶対最優秀賞をとりたいです。

合唱祭での成長

A組

先輩になって初めての合唱祭。緊張で歌い始めは声が出ず、足も少し震えていた。それでも後悔しないようにと勇気をふり絞って歌い始めた。

毎日のようにある6時間目の合唱練習。普段の6時間授業より20分長い練習では、嫌々言いながらも合唱祭が楽しみだったので、一応真剣に歌っていた。私は歌うことが苦手だ。だから通常なら合唱なんてしたくない。でも今回の合唱祭が楽しみと感じたのは、1年前の自分と今の自分を比較してみたからだと思う。1年前の自分は、音取りに時間がかかり、歌は嫌い決めつけていた。しかし今年は少し違った。昔よりも音取りに時間がかからなかったのだ。そして何より楽しみながら歌えるようになったのだ。勿論歌に苦手意識があるのは変わらない。けれど合唱祭に対してマイナスイメージが少し消えたのは事実だと思う。

そして迎えた合唱祭当日。前日のウキウキした気分とは裏腹に超絶緊張していた。それでも歌い始めてしまえば一瞬で、気付いた時には課題曲が終わり自由曲に変わっていた。自由曲も歌い切った時に安心感に包まれた気がした。

今回の合唱祭ではとれるかもと思っていた最優秀賞も優秀賞もとることができなかった。悲しさや悔しさはあるけれど、それ以上にクラスの団結力や自分自身の成長がみられた合唱祭になったと思う。